



教育課程編成の方針：「生きる力」の理念を重視し、知・徳・体の調和のとれた教育目標の達成を目指しつつ、学校評価等の結果から、年度の重点を定め教育課程を編成します。

《学習指導要領改訂のポイント》

- 改正教育基本法等を踏まえた学習指導要領改訂
- 「生きる力」という理念の共有
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 思考力・判断力・表現力等の育成
- 確かな学力を確立するために必要な時間の確保
- 学習意欲の向上や学習習慣の確立
- 豊かな心や健やかな体の育成のための指導の充実

《教育課程チェックポイント》

- 1単位時間を45分とし、確実に年間授業時数の確保を図る。
- 国旗・国歌を適切に位置づけ指導する。
- 「心のノート」「英語ノート」の活用を図る。
- 道徳推進教師を中心に、学校全体での道徳教育の推進を図る。
- クラブ、児童会、学校行事に適切な時数を充てる。

《教育課程実施上の配慮事項》

- 言語環境の整備と言語活動の充実
- 体験的な学習や基礎基本の知識及び技能を活用した問題解決的な学習の重視
- 学級経営と生徒指導の充実
- 見通しを立てたり振り返りする学習活動の工夫
- 学習課題や活動の自己選択や将来について考えたりする機会の設定
- 指導方法や指導体制の工夫改善を図り、個に応じた指導の充実
- 個々の障害に応じた指導内容や指導方法の計画的組織的対応
- 情報教育の充実とICT機器等の教材・教具の適切な活用
- 学校図書館の利活用による主体的な学習活動や読書活動の充実
- 指導の評価と改善による学習意欲の向上
- 家庭や地域社会との連携及び幼小中間の交流連携

～教育目標の具体化～

<p>◎明るくたくましい子ども（心身の健康）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○明るく元気なあいさつ ○体力向上への取り組み ○規則正しい生活習慣 ○好き嫌いのない食事 <p><実践の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動の実施 ・基本的な生活習慣の確立 ・食育の推進 ・新体力テストの結果からの体力づくり ・外遊び、徒歩登校の奨励 ・児童会活動の充実 ・水泳（皆泳）、スケートの指導 ・マラソン大会 	<p>◎よく考え真剣に学習する子ども（高い知性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の進め方と主体的に学ぶ力の育成 ○問題解決に取り組む能力と態度の育成 ○正しい学習習慣の育成 ○満足感・成就感を味わわせる <p><実践の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着 ・家庭学習の習慣化 ・CRTテストの結果からの改善 ・総合的な学習の時間の充実（野付湾・野付半島等を題材にして） ・10分間朝読書 ・特別支援教育 	<p>◎仲良く思いやりのある子ども（豊かな心情）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○やくそく、きまりを守る ○気持ちの良いあいさつ ○助け合い進んで働く ○相手のことを考えた言葉遣い <p><実践の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の充実 ・「心のノート」の活用 ・「いじめ」をゆるさない学校づくり ・学級経営の充実 ・全校朝会の工夫 ・自然を守る環境教育 ・共生の心を養う体験活動 ・集団のルールと人間関係 	<p>◎ねばり強くがんばる子ども（強い意志）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ねばり強さと責任感 ○くじけず努力する態度 ○目標や課題に向けた行動力 ○向上心の育成 <p><実践の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級活動の工夫 ・学校行事への取り組み ・計画的な家庭学習への取り組み ・成功体験と達成感を味わう ・宿泊学習・見学旅行の工夫 ・文化・スポーツ活動への参加
--	---	--	--

～教育課程編成の4つの重点～

- 野付小の教育目標のうち、「よく考え真剣に学ぶ子ども」「ねばり強くがんばる子ども」の育成を重点として教育課程を編成します。
- 道徳教育や体育などの充実により「明るくたくましい子ども」「仲良く思いやりのある子ども」を育成する教育課程を編成します。
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の能力の育成のバランスを重視して教育課程を編成・実施します。
- 子どもの主体的な学びを支える家庭との連携を図った教育活動の展開ができる教育課程の編成をします。

「4つの重点」の具体化「4つの策」

<p>策1 基礎的・基本的な知識や技能（特に「読み・書き・計算」の力）の習得を通して、確かな学力の向上を図ります。 ※思考力・判断力・表現力等の能力の育成は平成24年度に重点化します。</p> <p>《具体策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●時数の確保(国語 各学年 標準時数+15時間)(算数 各学年 標準時数+15時間) ●読み(音読・読書活動の重視 辞書の活用) <ul style="list-style-type: none"> ・読解力を育てるための校内研修の推進 ・読書活動の推進(朝読書、図書委員会の活性化) ●書き(作文指導・日記指導の重視 視写・聴写・暗唱活動を含む) ●計算(卒業までに整数の四則計算の完全習得 算数市販テストの学級最低点50点以上・CRT全国平均点以上の達成の取組) ●「読み・書き・計算」の力の習得を通して、自尊感情の育成を図る。そのために全校児童共通の達成目標の明確化。個人の達成度の調査。学び方の習得 	<p>策2 障害についての理解と効果のある指導法の研修で、特別支援教育の充実と更なる発展を図ります。特に教育・授業のユニバーサルデザイン化を推進します。</p> <p>《具体策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●校内研修などによる子ども理解のための時間確保 ●子ども支援委員会の定例会議と臨時会議の設定 ●個別支援計画と個別指導計画の作成と実施 ●全ての子にとってわかりやすい授業の構築 ●全ての子にとって、心地よくすごしやすい学校環境づくり ●関係機関(町教委、保健センター、児童相談所、医療機関等)との連携・専門家による指導・助言の機会増加 ●保護者との連携強化(保護者への積極的情報発信による情報共有、保護者との学習会) 	<p>策3 地域を愛し地域に誇りを持てる子どもの育成のために、保護者・地域と連携する教育の展開を図ります。そのためにまちづくり教育の考え方を取り入れ、野付小ならではの教育の推進を図ります。</p> <p>《具体策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2本柱(「野付学」と「大地の恵み」) ●「大地の恵み」学校園の活用による農作業体験活動の重視(種植え、雑草取り、収穫作業までの一連の活動の意識化と見える化 実り多い農作物収穫のための探究活動) 20時間 計80時間 ●「野付学」野付の自然、社会、産業、文化、歴史、世界とのつながり、将来の展望の調査・探究化と体験活動化50時間 計200時間(漁協、農協、支所、郵便局、町内会、野付ネイチャーセンター等との協力・連携) ●野付学テキストの作成 ●情報教育関係は、2本柱の中に探究活動のためのスキルとして設定する。 	<p>策4 子どもの主体的な学びを育むために、家庭学習支援プランを作成・実施し、家庭での学習習慣の確立を図ります。</p> <p>《具体策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保護者から「うちの子は家でも勉強するようになった」という実感を持たせる指導 ●家庭学習の充実(家庭の実態を配慮した習慣化及び発達段階に応じた取組内容の工夫) ●日課表の改善・工夫による放課後自学習の奨励タイムの設定 ●家庭学習の定期的点検と取り組むことによる達成感を実感させる評価の工夫 ●参観日、学校便り等を通しての家庭の理解と協力
--	--	--	---

教育課程編成の方針：年度末に実施する学校評価だけでなく、行事終了後や学期末等に教育活動を検証し、更なる学校改善をとぎれることなく実施していきます。

《学力調査と学校評価から》

平成22年度の実態

- 過去4年間、学力は下降傾向にあります。23年度は、それに歯止めをかける必要があります。
- 授業はわかると回答する子は多いのですが、学力は低い傾向にあります(国語は全道平均より低く、算数は極めて低いという結果が出ています)
- 家庭学習時間は極めて短くなっています(全校平均約19分)
- 親と子どもの意識のギャップがあり、子どもは肯定的に、親は否定的に学校を見る傾向があります。
- 自己肯定感が高く、明るく積極的に行動できる子が多くいます。
- 読書活動を好む子どもが多くいます。

《実態把握のための年間計画》

- ◆4月
 - ・個を的確に捉える実態把握(基礎学力、学習面、生活面等)
 - ・全国学力学習状況調査
 - ・特別な支援を要する子の把握
- ◆5月
 - ・学校評議員、PTAの意識調査
- ◆6月
 - ・集団を的確に捉えるQU調査
 - ・ひとりぼっちの子の調査
- ◆7月
 - ・いじめアンケート調査
- ◆8月
 - ・特別な支援を要する子の経過把握
 - ・学習意識実態調査
- ◆10月
 - ・就学時知能検査
- ◆12月
 - ・CRT検査(学力到達度調査)
 - ・特別な支援を要する子の経過把握
 - ・学校評価
- ◆2月
 - ・関係者評価

○子どもが学び続ける学校
○教師が学び続ける学校
○保護者が学び続ける学校

平成23年度 野付小学校 教育推進を支える学校テーマ
学び続ける学校 ～ 実践の展開 ～

「冬の風にもたじろがぬ 丘の木よりも僕たちは 私たちは強くなり 太く大きな幹になる 希望あふれる野付校」～校歌3番の歌詞より～